

2021年9月8日

大東文化大学 学長
内藤 二郎 殿

2021年度後期授業開始に際しての要望書

大東文化大学教職員組合
執行委員長 白井 春



2021年度後期の授業が間もなく開始するに当たり、本学教職員組合として下記の通り要望致します。

1. 対面授業に関する感染予防対策

学長から示された2021年度後期授業方針に従い、対面授業が少なからず実施される見込みである。様々な変異株がまん延する中で、教室、廊下、各事務室を含む大学構内の換気、空気清浄、バス内の三密回避など、前期以上にしっかりとしたコロナ感染拡大防止策を講じる必要がある。

大学として、新たにどのような感染防止策を講じているのかを提示して頂きたい。

2. 教員への補助

「後期授業方針」では、履修者数に応じた授業形式が提示されており、授業動画のオンデマンド配信、ハイブリッド形式の場合の毎週出講など、多くの負担を教員側に強いることになる。教員が支障なく授業運営ができるよう、通信環境の整備、動画の撮影と配信のサポート、必要な機材の準備など、十分な支援を要望する。

また大学への出勤を余儀なくされる事務・教育職員の健康管理への十分な配慮も併せて要望する。

3. 学生への支援

後期に対面授業、オンライン授業が混在する中で、学生たちがそれぞれの抱える事情のために不利な状況に陥ることがないように、最大限の配慮を要望する。特に、学内でオンライン授業を受講するために必要なWi-Fiスポットの拡充やプリンターの整備、また経済的に困窮する学生に対してはPCやポケットWi-Fi貸与を前向きに検討していただきたい。

対面授業のために登校する学生の健康への十分な配慮などをお願いしたい。

以上の要望について可及的速やかに善処いただくとともに、適切な方法でご回答くださいますようお願いいたします。